

平市

小野 栄一

店連合会副会長、いわゆる「小野」。業者。地主の品酒常務理事、平市商

高京や当選した選舉上手だ、今度はガタリとした地盤をめぐらの政治家として不動的地位を築き上げた強豪である。五十三才。

強口唯七郎
平市田町、金社販賣、現市議、磐城土木課長として平市会に就職し、野沢バクタン、城主建K氏村長、磐城貨物自動車K.K専務取締役、土木委員長として平市会に就職し、野沢バクタン、城主建K氏村長、磐城貨物自動車K.K専務取締役、土木委員長として平市会に就職し、野沢バクタン、

もしない下述的な存在である。

高木松原の名跡として数々の選舉戦を手がけ、政界の古豪である。

で読みは各人の域である。平市

のコワチとして雄名は県下だと

ころぎ難いと評した強豪がこの選舉

戦を一気に押し切るために引

きける力足りた市政界の

古豪格、七十二才。

木 村 直 恵

平市南町、医師、現市議、市議

会をはじめ町内に張った強豪の地

盤は固く不動といわれる。豪勲の

はげしい平市会の信頼を蒙

るの愛称で親しまれていたいふと

いわゆる、飾り氣のない男であ

る、五十才。

大 内 近 雄
平市二丁目、靴商、石城製革工場組長、松浦のトーマスやんの愛称で親しまれていたいふと、いわゆる、大内氏は松浦当選の名跡發

「大内」といえば社會党、社会党

「いわば大内」といわれるだけに今

度の立候補は彼の政界生活をなす

ものともいえる。一切なげいと

語る大内氏は松浦当選の名跡發

「大内」と同じく、まだ明治市政

を出たばかりの政治家である。平市正月十七才。

四 家 健 雄
平市豊岡字八幡町、農業、元豊岡組長、松浦のトーマスやんの愛称で親しまれていたいふと、いわゆる、四家氏は松浦当選の名跡發

といわれ、その方面からの得票を

多く新幹線地区にまで伸びがある

といわれ、その方面からの得票を